

平成31年第2回

仙北市教育委員会定例会会議録

平成31年2月21日

仙北市教育委員会

平成31年第2回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成31年2月21日（木） 午後1時55分

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

教育長	熊谷 徹
教育長職務代理者	安部 哲男
委員	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	細川 伸也

4 出席した事務局職員

教育部長	戸澤 浩
教育次長	浦山 英一郎
教育次長兼教育総務課長	
兼田沢湖学校給食センター所長	
兼西木学校給食センター所長	浅利 美智子
北浦教育文化研究所長	三浦 政喜
西木学校給食センター係長	伊藤 薫
生涯学習課長	佐々木 幸美
田沢湖公民館長	真崎 智明
角館公民館長	佐々木 勇人
西木公民館長	保坂 博明
市民会館長兼田沢湖図書館長	高橋 徳夫
学習資料館・イベント交流館長	富岡 美津子
スポーツ振興課長	伊藤 聡
文化財課長兼平福記念美術館長	富木 弘一
平福記念美術館参事	松橋 幸太郎

5 議事

(1) 議案審議

議案第1号	平成31年度仙北市教育行政方針について
議案第2号	仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について
議案第3号	平成31年度仙北市一般会計予算の教育費について
議案第4号	平成30年度仙北市一般会計補正予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第4号	仙北市教育行政報告について
報告第5号	仙北市育英奨学資金貸与制度検討委員会設置要綱の制定について
報告第6号	中川小学校・角館小学校統合準備委員会設置要綱の制定について

6 審議の経過及び結果

(熊谷教育長)

ただいまから、平成31年第2回仙北市教育委員会2月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には村瀬課長補佐を任命いたします。また、議事録署名員は、私と委員からは、安部教育長職務代理者を指名いたします。なお、前回会議録の承認については、会議終了後をお願いいたします。

(熊谷教育長)

平成31年第2回仙北市教育委員会2月定例会の開会にあたりご挨拶を申し上げます。

去る2月13日の中川小学校、15日の角館小学校、両校PTA全大会の中で学校適正配置説明会を開催しました。お蔭様をもちまして、今年度に予定をしていた学校適正配置に係わる意見交換会等を終了することができました。教育委員の皆様からも多大なご尽力を賜りました。今後は、市議会への報告等を行うこととなりますが、中川小学校と角館小学校については、平成32年4月の統合に向けて平成31年度をその準備期間として、学校間交流事業等を実施しながらしっかりと取り組んで参りたいと考えています。

次に、2月5日から17日まで、第8回仙北市総合美術展が平福記念美術館において開催されました。今回初めて愛仙からも出展があるなど大変良かったと思っています。今年度は、計168点の出展があり盛会裏に閉会することができました。仙北市では、生涯学習活動の発表の場を文化祭等のみに留まらず、更に総合美術展を開催して活動の成果を披露していることは、仙北市の大きな特色であるし、大変素晴らしい取り組みであると思います。

次に、2月17日に総合情報センターで読書感想文コンクール表彰式を行いました。今年度は、これまで審査委員長を長きにわたり務められました西宮陽助先生の逝去に伴い、鈴木勝一先生を新たに審査委員長としてお迎えをして審査をいただきました。今年度の特色の一つとして、最優秀賞を含む上位入賞者に桧木内中学校の生徒が受賞されたことが挙げられます。これは、小規模校の生徒の輝きが認められた大きな成果だったと思います。

最後に、いよいよ明日23日から仙北市では5回目となるフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会が始まります。教育委員会の職員の大部分は役員として参加されることとなりますが、どうか今大会が大いに盛り上がるよう頑張ってくださいと思います。

(熊谷教育長)

次に、2月の事務報告をさせていただきます。

－資料により報告－

(熊谷教育長)

2月の事務報告に質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議事に入ります。

はじめに、議案第1号仙北市教育行政方針について説明を求めます。

(戸澤教育部長)

議案第1号平成31年度仙北市教育行政方針について、別紙のとおり定めるものです。

なお、要点のみの説明とさせていただきます。

学校教育については、引き続き「ふるさとを愛し、豊かな心と健やかな体を持ち、確かな学力を身に付けた仙北の子ども」の育成を小・中学校共通の目標として掲げ、「ふるさと教育の一層の充実」、「思いやりの心と健やかな体を育み、命を大切にす教育の推進」、「確かな学力の向上」に取り組みます。

ユネスコの無形文化遺産へ登録された角館の曳山行事をはじめ、地域に伝わる伝統的な行事や祭典等を、学校教育の場でも児童生徒が正しく受け継いでいくよう努めていきます。

学校適正配置については、その結果、中川小学校については、平成32年4月に角館小学校と統合することとしました。桧木内中学校については、性急な学校適正配置を行わず、今後もよりよい教育環境の構築に向けた協議を継続するとともに、少人数のデメリットの軽減を図るため、近隣の中学校との学校間交流を推進していきます。

【教育総務課】

◇学校施設の充実等について

子どもたちの望ましい教育環境の構築の一環として、冷房設備の設置に取り組みます。また、災害時の利用も考慮した各学校施設の諸工事や維持修繕等について、計画的に進めていきます。また、老朽化等に伴う学校施設の大規模改修・改築についても、年次計画により取り組んでいきます。さらに、通学路点検やスクールバスの運行、各部署との連携等より良い通学環境の整備に努めます。

◇学校教育の充実について

児童生徒の生命・身体の安全と心の健康の確保を最優先事項とし、命を守るための防災・安全教育の充実、いじめ・不登校対策、体罰の絶無、学力向上に重点的に取り組み、学校教育の一層の充実を努めます。

特に、いじめ・不登校問題、ネットトラブル等の情報モラルを含む生徒指導上の諸問題については、学校及び関係機関等との連携・協力を一層推進し、引き続きその施策の充実に取り組んでいきます。

学力向上について、4月に実施される全国学力・学習状況調査、12月に実施される秋田県学習状況調査を活用し、その結果から本市の児童生徒に求められる思考力・判断力・表現力に係る各小・中学校の課題を明確にして、その克服に努めていきます。

平成31年度の小・中学校の新入学児童生徒数については、小学校が143人、前年度比36人の減(平成30年度小学校179人)、中学校が215人、前年度比34人の増(平成30年度中学校181人)が予定されています。

複式学級は、引き続き中川小学校と桧木内小学校での発生が予想されます。複式学級指導支援員を配置し、複式授業のデメリットの軽減に努めます。

【北浦教育文化研究所】

北浦教育文化研究所は、秋田県教育庁南教育事務所並びに仙北出張所の指導主事と連携・協力しながら、市内小・中学校の児童生徒の学力向上に向けた授業改善と教職員の資質向上に向けた指導・助言を進めていきます。

また、不登校児童生徒への支援を行う適応指導教室「さくら教室」を運営し、2人の指導員を中心にしっかりと対応します。

また、小学校外国語活動指導助手を1人増員して、外国語の音声や基本的な実現等に慣れ親しませ、外国語を用いたコミュニケーション能力の更なる向上を図ります。

【学校給食センター】

学校給食センターは、保護者や学校との連携を密にしながら児童生徒の偏食の改善や食事マナーの向上、食文化等についての理解の深化につながる取り組みを推進し、「家族とともに歩む学校給食」を目指します。

現在建設中の仙北市総合給食センター(仮称)の施設の特長として、連続炊飯システムを導入します。他にも、アレルギーを持っている児童生徒への配慮としてアレルギー調理

室を設置し、より安心して食べられる給食を提供できるようになります。

また、HACCP（ハサップ）認証などにより一層厳しい衛生基準に対応し、安全で安心な心のこもった学校給食を提供できるよう、平成32年4月稼働に向けて万全の準備を進めていきます。

【生涯学習課】

平成31年度も引き続き、生涯学習機関の年間事業計画や、各種サークルや団体の活動を広く市民へ発信するとともに、市民一人ひとりの学びを支援し、互いに教え合い学び合う知の循環型社会の構築と、生きがいに満ちた生涯学習の啓発に努めていきます。

地域と学校の連携強化では、現在、角館小学校と中川小学校の2校が「地域学校協働本部事業」に取り組んでいます。平成31年度からは、各地区の高齢者や保護者、PTA、NPO、民間企業など、幅広い地域住民等からの参画を得て、市内全域に「地域学校協働本部」の設置を目指します。

平成31年度は、平成32年度から5年間を実施期間とする「第2次仙北市子ども読書活動推進計画」策定の年度にあたります。子どもの読書活動を社会全体で支援できるよう、関係各機関と協議を重ね進めていきます。

花いっぱい運動推進事業の一環として取り組んでいる「にしきのフラワーロード105」の一斉植栽並びに「花苗配布」、そして、平成30年度から始めた「子ども演劇体験事業」については、学校と十分な連携を図りながら、平成31年度も継続して行います。

【公民館】

中央公民館設置に向けて、平成29年度策定の第3次社会教育中期計画に基づき、公民館の将来のあり方や役割などを関係機関と協議を重ねながら、3館合同事業の拡充や一本化などを積極的に行います。

多様化する市民の学習ニーズを把握し、効率的な運営を行い、公民館活動を通じた地域づくりを目指します。また、新規講座開設に向けて、社会教育における「行動人」を発掘・育成します。また、学校と地域の連携・協働体制の更なる充実を目指し、市内の認定子ども園・各小中学校・高等学校・大曲支援学校せんぼく校との連携強化に取り組めます。

平成31年度は、第59回秋田県仙北地域公民館大会及び第42回大仙仙北地区生涯学習推進研究大会が仙北市西木町で開催されます。本市の公民館活動を発信する絶好の機会でもあり、大会成功に向けて関係職員が一体になって取り組めます。

【市民会館】

自衛隊音楽隊コンサートやロビーコンサート等を引き続き開催していきます。

施設管理については、老朽化が著しいことから、順次改修を進め、施設を訪れる全ての方々に、安全かつ快適に利用していただけるよう、適切な管理と改修に取り組んでいきます。

【田沢湖図書館】

利用者のニーズや時代にマッチした選書に努め、より魅力ある蔵書構成を心がけていきます。

事業運営については、市民のニーズに幅広く応えられる資料の迅速な提供と、あらゆる年代の利用者に図書館の楽しさや役割を周知し、読書普及を図っていきます。

【学習資料館・イベント交流館】

学習資料館は、地域の皆様が自由に様々な図書に親しむことができるような環境づくりを進めます。乳幼児の保護者等の来訪者にも気軽に施設をご利用いただけるような工夫に努めます。地域の歴史文化を伝える郷土資料や地域に縁が深い作品、話題の図書他、図書資料の更なる充実を図ります。

イベント交流館に常設の新潮社記念文学館では「矢来町のたからもの展」を計画して、館内の展示内容の充実に努めます。

【スポーツ振興課】

34回目の開催となる田沢湖マラソンについて、毎年全国各地から約5,000人の参加を得て開催しており、ここ数年は海外からの参加者も増えてきています。課題となっていたフルマラソンの制限時間延長についても、関係機関との協議を経て、34回大会から5時間から6時間へ延長することで実行委員会の了承を得ています。

オリンピック・パラリンピックをひとつの契機として捉え、競技種目にとらわれることなく、幅広く人的・文化的相互交流が図られるよう、事業展開をしていきます。また、聖火リレーの誘致、実現に向けても努力していきます。

フリースタイルスキーワールドカップモーグル競技については、次世代選手の発掘、育成に力を入れながら競技への関心を高めていきます。

総合体育施設の整備については、昨年度策定した建設基本計画を踏まえ、民間活力の導入を含め、建設財源や管理運営方法等総合的な観点から調査検討を行います。

【文化財課】

伝統的建造物群保存地区防災施設整備事業については、平成31年度は角館樺細工伝承館向い側の旧角館小学校跡地から南側のFブロックのエリア整備を行います。

重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業では、平成29年度から継続している河原田家の修理工事において、年次計画により外構整備工事を行います。また、石黒家では単年度事業による主屋茅屋根修理を予定しています。

サクラの適正な樹木管理のため、角館のサクラ保存管理協議会を開催し、関係部署と連携のうえ継続して取り組みます。

「角館祭りのやま行事」については、「山・鉾・屋台行事」ユネスコ無形文化遺産として登録された5団体で情報交換を行うとともに、連携して情報発信を行っていきます。

また、5月に秋田市で開催される「食と芸能大祭典」への出演については、東北山・鉾・屋台協議会が設立されたことから「ユネスコ無形文化遺産魅力発信事業」として、文化財課で担当することになりました。

また、市民の皆様には北浦地方の悠久の歴史をご理解いただけるよう、歴史関連事業等を積極的に展開します。

【平福記念美術館】

平福記念美術館は開館31年を迎えますが、平成から新しい元号となる年に、仙北市民を始め多くの方々に広く親しんでいただける企画展を計画します。

内容は、記載のとおりです。

－資料により説明－

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(安部教育長職務代理者)

新年度の教育行政方針ということになるので、具体的な施策等は記載されないというこ

とは十分に分かりませんが、例えば、資料中2頁、教育総務課の「命を守るための防災・安全教育の充実、いじめ・不登校対策、体罰の絶無、学力向上に重点的に取り組み、学校教育の一層の充実に努めます。」、4頁、北浦教育文化研究所の「いじめや児童虐待等の悩みを抱えている児童生徒を見逃すことなく、その指導と支援を充実させるため、学校、市民福祉部、児童相談所等の関係機関との連携をより充実させ、迅速かつ適切に対応します。」、6頁、市民会館の「老朽化が著しいことから、順次改修を進め、施設を訪れる全ての方々に、安全かつ快適に利用していただけるよう、適切な管理と改修に取り組んでいきます。」、8頁、スポーツ振興課の「総合体育施設の整備については、昨年度策定した建設基本計画を踏まえ、民間活力の導入を含め、建設財源や管理運営方法等総合的な観点から調査検討を行います。」、10頁、文化財課の「市民の皆様には北浦地方の悠久の歴史をご理解いただけるよう、歴史関連事業等を積極的に展開します。」とそれぞれの部署において、新年度の行政方針として記載されています。このような方針の具体的な事業内容等が見えてこないのので、いつかの機会に説明をお願いできればと思いますが。

また、4頁、北浦教育文化研究所に「小学校外国語活動指導助手を1人増員して、外国語を用いたコミュニケーション能力の更なる向上を図ります。」とありますが、この予算の財源や職員の身分はどのような形態になるのでしょうか。

(戸澤教育部長)

ただ今、何点かのご質問をいただきました。具体策については、教育行政方針のスペース等の関係から記載のとおりであります。具体的な事業は教育委員会として把握はしています。教育委員の皆様には、できるだけ早い機会に資料に基づいてご説明をさせていただきたいと考えています。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

小学校外国語活動指導助手の1人増員についてであります。市の財源で非常勤職員として採用したいということで予算計上しています。

(安部教育長職務代理者)

小学校に外国語活動指導助手を1人増員していただくことは、大変有難いことであると思っています。

(坂本委員)

新潮社記念文学館の「フェアブル昆虫記を訳した椎名其二展」は、大変興味深く、良い企画だと思います。フェアブル昆虫記が現代の小学生にどの位認知されているのかと計りかねるところがありますので、是非市内の小学生を招待して見せていただきたいと思います。また、この町とフェアブル昆虫記の関わりを知っていただきたいと思います。

安部委員からの質問にもありましたが、小学校外国語活動指導助手1人の増員についてであります。平成32年度から全面実施となる小学校3年生からの外国語活動等に備え、大事な期間となりますので、英語を話せる仙北市の子どもを育てるうえでも、良い人材を確保して進めていただければと思います。

5月に秋田市で開催される「食と芸能大祭典」ですが、新年度から文化財課が担当されるということですが、観光課では関与しなくなることになるのでしょうか。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

予算措置が文化財課へと移行されますが、これまで同様に観光課とは連携をして取り組むこととなります。

(熊谷教育長)

ほかに質問等はありませんか。

—質問なし—

(熊谷教育長)

それでは、議案第1号仙北市教育行政方針については、ご異議ありませんか。

－異議なし－

議案第1号仙北市教育行政方針については、承認いたします。

(熊谷教育長)

次に、議案第2号仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について、説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

議案第2号仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について説明いたします。

仙北市基金条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものです。

これは、昨日、角館感恩講から育英奨学基金に積み立てるための寄付金15万円をいただきました。これに伴い、基金の積立額を29,868万円に改めるものです。

－資料により説明－

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議案第2号仙北市基金条例の一部を改正する条例制定については、ご異議ありませんか。

－異議なし－

議案第2号仙北市基金条例の一部を改正する条例制定については承認いたします。

(熊谷教育長)

次に、議案第3号平成31年度仙北市一般会計予算教育費について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

議案第3号平成31年度仙北市一般会計予算教育費について説明いたします。

平成31年度仙北市一般会計予算教育費について、別紙のとおり定例会に提案するものです。順次、所属長から説明をさせていただきます。

－資料により説明－

(主な平成31年度当初予算概要の説明要旨)

【教育総務課関係】

- ・新規事業の生保内小学校長寿命化改修事業費で、実施設計業務委託料、小学校施設大規模改修事業費で、桧木内小学校体育館大規模改修に係る設計監理・工事監理委託料及び工事請負費を計上している。
- ・新規事業の小学校外国語活動支援員派遣事業費で、平成32年度から全面実施となる小学3・4年生の外国語活動及び5・6年生の外国語授業の充実に向けた支援を行うため支援員1人を増員するための賃金、旅費を計上している。
- ・外国語青年招致事業費で、ALT1名の任期が8月で満了となることから、帰国に係る旅費及び新規来日者1名分の報酬等を計上しているため前年度より増額となっている。

【北浦教育文化研究所関係】

- ・新規事業として、昨年12月5日に角館中学校と恵文高級中学が姉妹校提携を締結したことから、交流事業に係る角館中学校の渡航経費を計上している。また、本年4月に生保内中学校と北投中学の姉妹校締結の調印式が生保内中学校を会場に予定されていることから関連の経費を計上している。

【総合給食センター（仮称）関係関係】

- ・運用準備期間となる2020年3月分の高熱水費、新給食費管理システム構築のための委託料を計上していることから前年度より増額となっている。

- ・総合給食センター建設事業費で、設計・工事監理委託料、工事請負費及び備品購入費（厨房用、施設設備）に係る経費を計上していることから、前年度より大きく増額となっている。

（伊藤西木学校給食センター係長）

【田沢湖学校給食センター関係】

- ・歳入の給食収入で、来年度の児童生徒の減少が見込まれることから、前年度より減額となっている。

【角館学校給食センター関係】

- ・歳入の給食収入で、来年度の児童生徒の減少が見込まれることから、前年度より減額となっている。

【西木学校給食センター関係】

- ・歳入の給食収入で、来年度の児童生徒の減少が見込まれることから、前年度より減額となっている。

（佐々木（幸）生涯学習課長）

- ・地域学校協働本部事業費補助金で、市内全域に地域学校協働本部の設置を目指しており、来年度は角館地区の角館小学校、中川小学校の他に田沢湖地区生保内小学校への設置を予定していることから前年度より増額となっている。
- ・読書活動推進パートナー支援事業費で、秋田県は日本一の読書推進県を目指していることに伴い、平成29年度から3年間、県内全市町村の実施に向けて取り組んでいる。このようなことから、来年度は最終年度にあたり、仙北市においても、当事業補助金制度を活用して、市内の金融機関、病院、商店、観光施設等と連携を行いたい。市民が身近な所で読書に親しむことができる環境を提供するため施設内に図書コーナー等を設置するなどして読書拠点づくりに取り組みたいと考えていることから関連の経費を計上している。
- ・新規で、青少年育成秋田県民会議負担金を計上している。これは、県南地区の小中学生を対象とした「わたしの主張」弁論大会の開催経費に充てるものである。今年度まで市民生活課が所管部署となっていたものであるが、県内各市町村では、概ね生涯学習関連事業の所管部署が担当している状況である。このようなことから、市民生活課から所管変えの要請もあり、新年度から生涯学習課が担当することになる。

（真崎田沢湖公民館長）

- ・歳入、歳出共に今年度と同程度の予算規模として計上している。

（佐々木（勇）角館公民館長）

- ・角館公民館管理運営費で、今年度同様に臨時職員1人の雇用を予定していることから、前年度より増額となっている。
- ・角館公民館活動推進費で、文化財課所管事業の伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事に伴い、公民大学園芸学科ダリア園花壇を移設しなければならなくなったため、花壇の新設工事に係る経費を計上している。
- ・小野崎家管理運営費で、今年度に除雪機を備品購入したことから、来年度予算はその分で減額計上となっている。

（保坂西木公民館長）

- ・西木公民館管理運営費の管理委託料で消費税引き上げに伴い、前年度より増額となっている。

（高橋市民会館長）

【市民会館関係】

- ・歳入、歳出共に今年度と同程度の予算規模として計上している。

【田沢湖図書館関係】

- ・歳入、歳出共に今年度と同程度の予算規模として計上している。

(富岡学習資料館・イベント交流館長)

- ・学習資料館利用促進費で、月1回託児所を設けて、日ごろ忙しい保護者にじっくり読書をしていただく機会を提供する子育てサポート事業を計画している。
- ・図書館情報システム管理運営費及び学校図書館支援事業費で、平成30年度に5年契約のシステムを整備した。平成31年度は保守委託料で12か月の無償期間が経過することに伴い、委託料が生じることから前年度より増額となっている。
- ・イベント交流館展示費で、巡回展「矢来町のたからものー佐藤俊夫新潮社元会長旧蔵資料の輝き」を開催することに伴い、日本近代文学館からの展示品借上げ料、運送費等の関連経費を計上している。

(伊藤スポーツ振興課長)

- ・田沢湖マラソン大会負担金について、来年度は公認コースの更新料の負担が生じることと、現在、会場が舗装工事を行っていることから、今後、看板等設置の際に木杭や鉄筋を打って固定することが出来なくなる。このようなことから、看板設置のためのウエイト等の購入費を含め施設の充実を図るため前年度比増の計上額としている。
- ・第32回全日本MTB選手権大会補助金を計上している。これに関連して、2年続けて、田沢湖MTBフェスティバル Coupe du Japon MTB が開催されたが、来年度は、田沢湖スポーツセンター及びたざわ湖スキー場で全日本選手権大会が開催されるということで、新規となる。
- ・県軟式野球連盟からの要望を受け、第23回東北少年軟式野球大会補助金を計上している。この大会は、8月3日、4日に落合球場、生保内球場で開催され計8チームが出場予定である。
- ・仙北市総合体育館建設事業費について、教育行政方針にもあるとおり、昨年度策定した建設基本計画を踏まえ、保健体育総務費の中に予算を置いて民間活力の導入を含め、建設財源や管理運営方法等総合的な観点から調査検討することとしている。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

【文化財課関係】

- ・歳入で、重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金を計上している。これは、伝建群Fブロックの防災施設整備工事・工事監理費の事業費が膨らむため前年度より増額として計上している。
- ・2020年が角館町割り400年の記念にあたることから、記念行事準備に取り掛かるための旅費、PRグッズ等の消耗品費を計上している。要求時は新たに事項を設けていたものであるが、査定で一般総務費の中に予算措置となった。
- ・重要伝統的建造物群保存地区保存事業費について、平成31年度は、河原田家改修工事(3期)外構工事他となり、事業規模が縮小されることから前年度より減額で計上している。なお、平成32年度は河原田家蔵を改修する予定である。
- ・伝建郡防災施設整備事業費について、これは、伝建群Fブロックの防災施設整備工事・工事監理費を計上している。この地域は、旧角館小学校プールが解体されてから防火水槽が無い状況となっていることから、防火用水源を確保するための水槽1基の設置とポンプ施設工事を行うものである。

【平福記念美術館関係】

- ・歳入の美術作品等購入基金繰入金で、平福穂庵・百穂の作品を購入するため経費に充てるため、基金の一部を取り崩して一般会計に繰り入れるものである。
- ・常設・企画展示費で、例年同様に年5回開催する企画展・常設展に係る経費を計上し

ているが、この中で、平福徳庵・百穂作品の購入経費を計上しているため、前年度より増額となっている。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(坂本委員)

生涯学習課に質問です。来年度は短歌大会を開催するための補助金が計上されていないと思いますが、短歌大会は開催されないのでしょうか。

(佐々木(幸)生涯学習課長)

仙北市短歌大会は、平成26年度の国民文化祭事業の一つで、国民文化祭が終わってからも継続して開催されてきました。今年度の補助金交付に係る事業実績報告書が提出された際に来年度の補助金交付の要望はなかったのですが、新年度の予算要求をしたところです。その後事業の見直しを図るということで、仙北市短歌大会開催費補助金予算は内示を受けることは出来ませんでした。

(橋本委員)

生涯学習講座を立ち上げの際は、市職員が関わってサポートをし、ある一定の期間が経過したら自主的に運営していくようにしたらいいのではないかとということになっていたと思います。このようなことから、自立して活動をしているグループや団体の育成に繋がっているのかということが一つです。また、文化財課への質問になりますが、これまで、弘道書院の調査を実施してきましたが、その後の具体的な計画等はあるのでしょうか。

(佐々木(幸)生涯学習課長)

公民館で各種講座等を開催しています。また、同じような活動を行っているサークルの方々もいらっしゃいます。公民館で開催した講座等につきましては、まずは、その楽しさというものを実感していただいてから自主的に活動をしていただくという方向で支援をしている状況です。また、公民館の講座から継続して自主的に活動をしているサークル等もありますので育成に繋がっていると考えます。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

弘道書院の建設計画について、検討委員会からは必要であるというご意見を頂戴しています。今後、角館庁舎解体後の火除けの復元と弘道書院を併せて審議していただくということで、歴史まちづくり事業に手を挙げたいということで市長もお話しをされています。また、国土交通省、文化庁及び農林水産省の補助事業となる歴史まちづくり事業の全体的な計画の中で優先順位を付けて事業の実施に取り組みたいということを検討委員会でお話しをさせていただきました。角館庁舎の解体が実施計画の中で年度が決まりましたので、優先順位として火除けの復元が最初になるのではないかとということで順位的には考えています。併せて弘道書院についても文化庁の補助金の関係もありますので、実施年度をどこに位置づけるかということ来年度の事業計画の中で盛り込みたいと思っています。

(熊谷教育長)

ほかに質問等はありませんか。

—質問なし—

(熊谷教育長)

それでは、議案第3号平成31年度仙北市一般会計予算の教育費については、ご異議ありませんか。

—異議なし—

議案第3号平成31年度仙北市一般会計予算の教育費については、承認いたします。

(熊谷教育長)

次に、議案第4号平成30年度仙北市一般会計補正予算(第12号)の教育費について

説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

議案第4号平成30年度仙北市一般会計補正予算(第12号)の教育費について説明いたします。

平成30年度仙北市一般会計補正予算(第12号)の教育費について、別紙のとおり定例会に提案するものです。順次、所属長から説明をさせていただきます。

－資料により説明－

(主な補正予算概要の説明要旨)

【教育総務課関係】

- ・歳入で、雇用保険の個人負担分、育英奨学基金へ角館感恩講からの寄付が予定されていることから、所要額を補正計上している。
- ・歳入、育英奨学基金への寄附金に伴い、歳出で基金への繰出金を補正計上している。
- ・各小中学校へ3月補正での事業費精査をお願いしてきた。こうしたことから、燃料費単価の高騰による増額補正以外は、事業費精査による減額補正となる。

【北浦教育文化研究所関係】

- ・コピー機、印刷機の今後、使用見込不足額を補正計上している。

(伊藤西木学校給食センター係長)

【田沢湖、西木学校給食センター関係】

- ・両センター共、給食センター管理運営費で、燃料単価高騰により不足額を補正計上している。
- ・西木学校給食センターの保守点検業務等委託料で入札差額分精査により減額補正計上している。

(佐々木(幸)生涯学習課長)

- ・各事項共、事業費精査による補正内容となる。

(真崎田沢湖公民館長)

- ・田沢湖公民館管理運営費の賃借料(長期継続)で、コピー機賃借入札差額を減額補正している。

(佐々木(勇)角館公民館長)

- ・歳入の管理運営費で、公民館、小野崎家及び武道館使用料増に伴い補正計上している。
- ・事業費精査に伴う減額補正となる。
- ・小野崎家管理運営費で、燃料単価(灯油、ガソリン)高騰により不足分を補正計上している。

(富岡学習資料館・イベント交流館長)

- ・歳入は、収入見込による増額補正となる。
- ・歳出は、事業費の確定及び見込精査による減額補正となる。

(伊藤スポーツ振興課長)

- ・歳入の建物災害共済金で、田沢市民体育館外壁の雪害破損箇所修繕に伴い、保険金を請求したところ適用となったため補正計上している。
- ・市民体育館管理費で、田沢市民体育館耐震診断調査委託を予定して、国庫補助を活用した耐震化調査から耐震工事までを検討していたところであるが、補助金を含めた財源の確保が困難になるということで、調査年度の見直しに伴い減額補正している。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

【文化財課関係】

- ・歳入の雑入で、図書等頒布代金を販売実績に合せて所要額を減額補正している。
- ・武家屋敷公開管理事業費の賃金で、当初6人を見込み募集をしていたが、武家屋敷の

管理人が最終的に5人の雇用人数となったため、所要額を減額補正している。

【平福記念美術館関係】

- ・歳入の観覧料で、12月現在高に1月から3月までの見込額を加え、予算現額を差し引いた分を増額補正している。
- ・歳出は、事業費確定に伴う減額補正となる。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

ー質問なしー

(熊谷教育長)

それでは、議案第4号平成30年度仙北市一般会計補正予算(第12号)の教育費については、ご異議ありませんか。

ー異議なしー

議案第4号平成30年度仙北市一般会計補正予算(第12号)の教育費については、承認いたします。

(熊谷教育長)

次に報告事項に入ります。

はじめに、報告第4号仙北市教育行政報告について説明を求めます。

(戸澤教育部長)

報告第4号仙北市教育行政報告について説明をいたします。

平成31年第2回仙北市議会定例会において、別紙のとおり教育行政報告をするものです。なお、要点のみの説明とさせていただきます。

【教育総務課】

◇仙北市育英奨学資金貸与制度検討委員会について

2月19日、仙北市育英奨学資金貸与制度検討委員会を開催し、基金の運用、制度の見直し、収納対策、原資の確保等についてご検討をいただきました。

◇学校適正配置について

中川小学校については、平成31年度を学校間交流等の準備期間とし、平成32年4月から角館小学校と統合することとしました。

なお、経過等につきましては、記載のとおりです。

◇青山学院大学との交流活動について

2月14日から17日の4日間、青山学院大学の学生・引率者14名が仙北市を訪れ、冬季交流プログラムを行いました。期間中、参加者はひとり暮らし高齢者宅の除雪作業、田沢湖高原雪まつりの準備作業のボランティア活動や、武家屋敷岩橋家で行われている角館の冬がたり等を見学して、雪国の暮らしぶりや風習を体験していただきました。

【生涯学習課】

◇仙北市総合美術展について

2月5日から17日まで「第8回仙北市総合美術展」が、角館町平福記念美術館において開催されました。今回は新たに指定障がい福祉サービス事業所「愛仙」からの出展も含め、151人と5団体から絵画、書、写真、工芸、手芸作品など168点の出展があり、あらためて生涯学習の裾野の広さを実感しました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇読書感想文コンクールについて

仙北市読書感想文コンクールは、角館図書館後援会主催から引き続いて54年目となる

地域に根ざしたコンクールとなっています。今年度は、審査委員長に田沢湖町生保内在住の鈴木勝一（すずき しょういち）さんをお迎えし、市内各校から選抜された147点の応募作品から38点の入賞作品を決定しました。

【スポーツ振興課】

◇2019フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会について

2月2日と3日に、たざわ湖スキー場で2019フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会が男子53人、女子35人の参加のもと、良好なコースコンディションで開催されました。

◇高雄国際マラソンへの市民ランナー派遣について

2月17日に開催された第10回高雄国際マラソン（台湾）へ、田沢湖マラソンを完走した市民ランナー3人を派遣しました。また、高雄国際マラソンは今年が10回大会ということで、お互いのマラソン大会の友好交流を促進するため、仙北市と高雄市が更なる友好交流を促進する旨の覚書を締結しました。

【文化財課】

◇おやま囃子芸能発表会について

2月11日に、角館交流センターで「おやま囃子芸能発表会」が開催され、13団体が出演しました。当日は、歴史ある伝統芸能の囃子や踊りを堪能しようと市内外から約800人の観客や参加者が会場に詰めかけ、大いに盛り上がりました。

◇国指定名勝桧木内川堤「サクラ」のウソ対策について

国の名勝に指定されている桧木内川堤のサクラについて、ソメイヨシノ花芽食害防止と景観保全を目的として、今年も2月1日から3月2日までの30日間、角館猟友会に委託して、ウソの有害鳥獣捕獲を行っています。

【平福記念美術館】

◇館藏品・寄託品展について

2月26日から4月9日まで、「館藏品・寄託品展」を開催します。平成30年度に寄贈いただいた作品や、美術館所蔵作品、寄託作品を中心に展示予定です。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(安部教育長職務代理者)

教育総務課で育英奨学資金貸与制度検討委員会が設置されておりますが、委員会の構成メンバーについてと、生涯学習課の仙北市総合美術展についてであります。私も大変感動しながら拝見をさせていただきました。そこで、会期中の来場者はどれくらいになったのでしょうか。また、平福記念美術館の館藏品・寄託品展について、展示内容等が分からないので、内容を説明する一文があったほうがいいのではないのでしょうか。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

検討委員会委員の構成メンバーについては、この後の報告第5号仙北市育英奨学資金貸与制度検討委員会設置要綱の中で説明させていただきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

(安部教育長職務代理者)

はい。分かりました。

(佐々木（幸）生涯学習課長)

来場者数についてですが、昨年度は451人で、今年度は570人となりました。
(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

館藏品・寄託品展について、平成30年度に河正雄（ハ・ジョンウン）さんから、寄贈いただいた作品や、美術館所蔵作品、寄託作品を中心の展示内容となる予定です。なお、展示数は調整中の部分もありますので、確定した数値を追加した内容で行政報告をさせていただきます。

(熊谷教育長)

ほかに質問等はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、報告第4号仙北市教育行政報告は承認いたします。

(熊谷教育長)

次に、報告第5号仙北市育英奨学資金貸与制度検討委員会設置要綱の制定について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

報告第5号仙北市育英奨学資金貸与制度検討委員会設置要綱の制定について、別紙のとおり、設置要綱を制定したので報告するものです。

－資料により説明－

【主な説明要旨】

- ・第1条の設置目的で、仙北市育英奨学資金貸与制度の健全かつ円滑な運用を図り、制度運用に関し必要な調査及び審議を行うため、仙北市育英奨学資金貸与制度検討委員会を設置することとしている。
- ・第3条の組織で、学識経験者、学校教育関係者、仙北市育英奨学資金運営審議会の代表としており、委員会の構成を規定している。
- ・委員は学識経験者から、千葉恒昭さん（田沢湖）、菅原一正さん（角館）、石郷岡宗幸さん（西木）、学校教育関係者から、市PTA連合会副会長の湯澤満さん、同理事の荒木田浩生さん、仙北市育英奨学資金運営審議会長の仲野谷藤吾さんを選任し委嘱したところである。
- ・2月19日に第1回検討委員会を開催し、これまでの経過や制度の説明をした。また、検討事項を示し、今後の第2、3回検討委員会での意見を集約したいと考えている。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、報告第5号仙北市育英奨学資金貸与制度検討委員会設置要綱の制定については承認いたします。

(熊谷教育長)

次に、報告第6号中川小学校・角館小学校統合準備委員会設置要綱の制定について説明を求めます。

(三浦北浦教育文化研究所長)

報告第6号中川小学校・角館小学校統合準備委員会設置要綱の制定について、別紙のとおり設置要綱を制定したので報告するものです。

－資料により説明－

【主な説明要旨】

- ・第3条に組織を規定している。委員会は、次に掲げる者の中から教育長が委嘱する委

員をもって組織する。

- ・（１）地域の代表者として、両校から３名を推薦していただき選任したい。
- ・（２）保護者代表として、両校PTA正副会長を選任したい。
- ・（３）学識経験者として、学校適正配置研究検討委員会委員の中から各地区１名ずつを選任したい。
- ・（４）学校代表者として、両校の校長及び教頭を選任したい。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、報告第６号中川小学校・角館小学校統合準備委員会設置要綱の制定については承認いたします。

(熊谷教育長)

次に、その他の時間といたします。

はじめに、いじめ・不登校対策についてお願いします。

(三浦北浦教育文化研究所長)

１月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

はじめに、いじめについては小学校１件の認知件数の報告がありました。

次に、１月の不登校についてですが、小学生２名、中学生１３名、計１５名となっております。

以上、１月のいじめ、不登校の状況です。

(熊谷委員長)

１月の報告事案について、質問はありませんか。

(安部教育長職務代理者)

いじめ、不登校の対応については、北浦教育文化研究所に大変ご難儀をお掛けしておりますが、この１年間、保護者等から相談のあった件数とさしつかえなければ対応状況等をうかがいたいのですが。

(三浦北浦教育文化研究所長)

今年度、保護者等から相談を受けまして、直接保護者に対応しました事案について報告いたします。不登校については、３件となります。次にいじめについては１件となっております。

(安部教育長職務代理者)

分かりました。ありがとうございました。

(熊谷教育長)

ほかに質問等はありませんか。

－質問なし－

(熊谷委員長)

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開について説明をお願いします。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

平成３０年第１６回仙北市教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてです。ページに沿ってご説明いたします。

－資料により説明－

誤字や脱字、お気付きの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

(熊谷教育長)

お気づきの箇所等がありましたら、浅利次長へ連絡してください。

他にありませんか。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

委員の皆様には今年度の市内小中学校卒業式の出席分担表を配付しております。これは原案となりますので、どうしてもご都合がつかない場合はご連絡をいただきますようお願いいたします。

また、新年度の当初予算編成が大変厳しい財政状況となるということで、明日開催されます校長会に副市長が出席をして各学校にお話しをさせていただく場面を予定していることをお知らせさせていただきます。

(佐々木(幸)生涯学習課長)

委員の皆様のお手元に庁舎整備に係るスケジュール等資料を配付しております。これは、本年2月18日に庁舎整備担当から提出を受けた資料となります。教育委員会に関しましては西木庁舎の2階に事務局が配置されまして、その東側の部分に中央公民館が配置となる計画になります。また、西木庁舎計画平面図(素案)の1階部分に関係団体等の名称が記載されておりますが、まだ確定していない内容となりますので、秘密厳守をお願いいたします。

(伊藤スポーツ振興課長)

フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会のパンフレットを配付させていただきました。今回の大会には、男子44名、女子27名の計71名がエントリーしており、昨日の段階で参加する選手が決定しております。土曜日にモーグル競技、そして日曜日にデュアルモーグル競技が行われます。そして今日から公式トレーニングが始まり、プログラムに沿ってスタートしている状況です。大会期間中は天候にも恵まれそうな予報が出ており、選手達の熱い戦いが予想されますので、是非ご観戦くださいますようご案内させていただきます。

(熊谷教育長)

ほかに報告等はありませんか。

ーなしー

(熊谷教育長)

それでは、以上で平成31年第2回仙北市教育委員会2月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午後3時35分)